

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
南関町	第一大原地区(小原、東豊永)	令和4年2月25日	令和4年2月25日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	180.6ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	98.9ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	50.2ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	13.9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	18.7ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	28.0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

現状、齢化により後継者不足が不足している。中山間地域のため圃場等の利便性が悪わるい。また有害鳥獣による被害が増加している。昨今は、災害による被害が多発している。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

【小原】【東豊永】 現在中心経営体の引き受け意向のある農地については、積極的に集積を進め、今後中心経営体になりうる担い手の育成及び将来的には、集落営農組織を視野に入れた、集約化を目指す。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

(1) 鳥獣害被害防止対策
(2) 後継者の育成及び確保
(3) 基盤整備の推進
(4) 農地バンクの活用